

**2003年度 市川市委託事業
市川市三番瀬市民生物調査報告書**

2004年3月

**市川市
東邦大学理学部東京湾生態系研究センター**

2003 年度 市川市三番瀬市民生物調査報告書

目 次

1. はじめに	1 ページ
2. 調査地	2 ページ
3. 調査結果	6 ページ
4. 猫実河口沖の季節変化	21 ページ
5. 三番瀬の底生動物相の特徴	25 ページ
6. 調査を通しての市民の意見	26 ページ

付表 調査結果一覧

猫実河口沖	2003年7月8日
猫実河口沖	2003年10月3日
新浜湖百合が浜	2003年6月15日
江戸川放水路	2003年8月12日
海浜公園東浜	2003年7月30日

1. はじめに

三番瀬は東京湾奥部市川市から船橋市の海岸沖に広がる一部に干潟を含む浅瀬海域である。この海域は、千葉県における干潟埋め立て計画の変更により残された貴重な空間で、東京湾生物の保護、住民の海へのアクセス、そして海岸部の街と海との関係づくりについての議論が活発に行われている。前記のような議論を進め、将来に渡ってその環境を街づくりや環境学習を担っていくためには、海の環境やその環境資源的価値を理解する人材の育成が不可欠である。本調査は、住民と行政参加による三番瀬とその周辺海域の調査をとおして、三番瀬の環境を科学的に理解すると同時に、三番瀬の現状について実体験を持つ人材の育成を目的として、東邦大学理学部東京湾生態系研究センターが市川市から委託を受けて行われたものである。

この調査実施にあたって以下の団体のご協力を得た。ここに深く感謝する。

NPO 法人三番瀬環境市民センター、
国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所

2. 調査地（図1）

三番瀬猫実川河口沖

三番瀬の北西端にあたり、浦安側の埋め立てにより閉鎖性が増し、環境の悪化が懸念されている海域である。ごく一部に干潟ができるもののほとんどが干出することのない水深 2 m より浅い浅海底となっている。今回は、猫実川開口部沖 1 km 以内に 10 の測点を設けて調査した。底質は砂泥もしくは泥質で、海藻類（7月 アオサ類、10月 シオグサ類）が堆積していた。

船上より、間口 15 cm x 15 cm の採泥器を用い、深さ約 10cm まで差し込んで5回採泥し、1 mm のふるいに残った生物を採集した。

調査は 2003年7月8日、2003年10月3日に行われた。

三番瀬海浜公園東浜海岸

海浜公園の東浜にある人工海浜の干潟部で、底質は細砂からなる。海浜部は傾斜が急であるが、その低潮部は平らな干潟面となっている。

調査は 2003年7月30日に行われた。調査測点として岸寄りから調査時の最干潮汀線付近まで順次3つの測点を設置した。各測点において、25 cm x 25 cm、深さ 20 cm までの採泥を2回行い、1 mm のふるいに残った生物を採集した。

江戸川放水路干潟

江戸川放水路は江戸川本流の排水路として人工的に開削された水路であるが、建設後約 80 年が経過し、その両岸は干潟状の地形となっている。今回は、この放水路の右岸（行徳側）に上流部から河口堰直下（L-1）、猫実排水機場（L-2）、京葉線鉄橋付近（L-3）の計 3 カ所の調査地点を設けた。底質は最上流部で泥質、猫実排水機場付近で砂泥質、京葉線鉄橋付近で細砂である。調査測点として河口堰直下と猫実排水機場では岸寄りから調査時の最干潮汀線付近まで順次3カ所設置し、京葉線鉄橋付近では岸寄りに2カ所、以下最大干潮線に向かい2カ所の計4カ所に設置した。各測点において、25 cm x 25 cm、深さ 20 cm までの採泥を2回行い、1 mm のふるいに残った生物を採集した。

行徳鳥獣保護区（新浜湖）百合が浜干潟

行徳鳥獣保護区は 1970 年代に造られた人工的な野鳥保護区で、その中に東



図1 調査地点

京湾と連絡する潟湖（新浜湖）がある。百合が浜は造成工事の過程で土砂の排出により形成されたもので、現在では潟湖内でもっとも良好な干潟環境となっている。底質は細砂からなる。

調査は、2003年6月15日に行われた。調査測点として岸寄りから調査時の最干潮汀線付近まで順次3カ所設置した。各測点において、25cm x 25cm、深さ20cmまでの採泥を2回行い、1mmのふるいに残った生物を採集した。

猫実川河口沖を除き、採集ならびにふるいに残った生物の回収は参加住民（表1）、行政関係者、NPO法人三番瀬環境市民センター関係者とともに行った。猫実川河口沖においては正常採集のため東京湾生態系研究センターとNPO法人三番瀬環境市民センター関係者で採集を行い、生物の回収に参加住民、行政関係者が加わった。

採集した生物ならびに未回収のサンプルはすべて東京湾生態系研究センターによって標本にされた後、同定、定量（個体数、湿重量）された。同定は軟体動物が黒住耐二（千葉県立中央博物館）、甲殻類が駒井智幸（千葉県立中央博物館）、多毛類とその他の動物を西 栄二郎（横浜国立大学）が担当した。

表1 三番瀬市民調査 生物調査参加者

番号	氏名	所属など	参加調査
1	石龜 明	行徳野鳥観察舎友の会	行徳鳥獣保護区
2	石龜 比呂子	行徳野鳥観察舎友の会	行徳鳥獣保護区
3	石川 一樹	行徳野鳥観察舎友の会	行徳鳥獣保護区
4	矢野 英之	行徳野鳥観察舎友の会	行徳鳥獣保護区 東浜 江戸川放水路
5	青木 孝博	県立松戸秋山高校生物部	東浜 江戸川放水路
6	池田 靖	一般	東浜 江戸川放水路
7	内山 純男	生き物マップボランティア	東浜
8	渡辺 猛	一般	江戸川放水路
9	高橋 柳	一般	江戸川放水路
10	高橋 香夏	一般	江戸川放水路
11	畠野 誠子	一般	江戸川放水路
12	三谷 広見	一般	江戸川放水路
13	竹田 真美	東邦大学学生	行徳鳥獣保護区
14	多々良 有紀	東邦大学学生	行徳鳥獣保護区
15	川原 円	東邦大学学生	行徳鳥獣保護区
16	国友 俊生	東邦大学学生	行徳鳥獣保護区
17	山崎 孝平	東邦大学学生	行徳鳥獣保護区
18	山田 真梨	東邦大学学生	江戸川放水路
19	渡辺 清香	東邦大学学生	江戸川放水路
20	有路 隆一	江戸川河川事務所	江戸川放水路
21	野路 一	江戸川河川事務所	江戸川放水路

3. 調査結果

各調査地での生物採集結果を添付表に示す。以下各調査地の結果の概要を述べる。またここでは優占種などの解析においては付着性の動物種は除いた。除く理由は付着生物の出現は三番瀬や干潟海底の泥や砂底環境と直接的に関係せず、海藻や固形物など付着基盤の存在にその出現が影響されるためである。

猫実川河口沖

(7月) 刺胞動物1種、紐型動物1種、環形動物多毛類50種、軟体動物腹足類11種、同二枚貝類13種、節足動物甲殻類13種の計88種が採集された(表2)。また、個体数としての優占種を表3に、湿重量としての優占種を表4に示す。個体数ではトンガリドロクダムシが圧倒的に多く、ついでミズヒキゴカイ、ホトトギスガイ、マテガイであった。マテガイはほとんどが最大殻長が約1cm以下の稚貝であった。重量ではアサリ、ホトトギスガイの二枚貝が優占した。

(10月) 刺胞動物1種、紐型動物1種、環形動物多毛類22種、軟体動物腹足類6種、同二枚貝類17種、節足動物甲殻類11種の計58種が採集された(表5)。また、個体数としての優占種を表6に、湿重量としての優占種を表7に示す。個体数ではウミゴマツボが圧倒的に多く、ついでアサリ、カワグチツボ、ニホンドロソコエビであった。重量ではホトトギスガイとアサリの二枚貝が優占した。

三番瀬海浜公園東浜

刺胞動物1種、紐型動物1種、環形動物多毛類13種、軟体動物二枚貝類5種、節足動物甲殻類3種、笄虫動物1種の計24種が採集された(表8)。また、個体数としての優占種を表9に、湿重量としての優占種を表10に示す。個体数ではカワゴカイ類が多く、ついでドロオニスピオ、アサリであった。重量ではアサリとシオフキの二枚貝が優占した。

江戸川放水路干潟

刺胞動物1種、紐型動物1種、環形動物多毛類21種、軟体動物腹足類2種、同二枚貝類9種、節足動物甲殻類7種、笄虫動物1種の計42種が採集さ

表2-1
猫実川河口沖 7月8日 出現種

環形動物門多毛綱
(ゴカイの仲間) 50種

種名	学名	個体数	重量(g)
ニホンカイ科	<i>Glycera elutacea</i>	23	0.650
オキシケンシ科	<i>Glycera maculosa</i>	22	0.659
ゴカイ科	<i>Glycidae sp.</i>	1	0.010
	<i>Scoloplos responca</i>	22	0.160
	<i>Ceratonereis cylindracea</i>	45	0.070
	<i>Hedistius dentatus or stictus</i>	62	0.150
	<i>Nereis succinea</i>	90	1.800
	<i>Polymeria bivalvata</i>	3	0.020
サシバゴカイ科	<i>Ischiocaris longa</i>	3	0.030
	<i>Scutigera</i>	1	0.010
	<i>Polydora sp.</i>	1	0.010
カギゴカイ科	<i>Nereisella gen. et. sp.</i>	1	0.010
ウロコムシ科	<i>Sigmodon pheleensis</i>	53	0.090
	<i>Hemichordis cf. infuscata</i>	1	0.010
	<i>Hemichordis cf. praevara</i>	1	0.010
	<i>Hemichordis sp.</i>	27	0.250
イトゴカイ科	<i>Capitella capitata silting species type I</i>	33	0.040
	<i>Metavermatula sp.</i>	148	0.120
	<i>Melanostomus sp.</i>	60	0.050
ミズヒキゴカイ科	<i>Coniforme et. consimilis</i>	513	16.080
	<i>Coniforme sp.</i>	1	0.010
ウリセリゴムシ科	<i>Liparis lucasi</i>	6	0.130
スピキモ	<i>Polyperonepis sp. Type A</i>	3	0.050
	<i>Phelotrema cornuta</i>	15	0.050
	<i>Polycera</i>	2	0.010
	<i>Rhynchocoelid. puncta</i>	1	0.010
イエコラビビ	<i>Prionospio pilosa</i>	109	0.060
	<i>Prionospio serricornis</i>	2	0.010
	<i>Prionospio tridentatus</i>	1	0.010
	<i>Prionospio japonica</i>	2	0.010
	<i>Scoloplos kudamai</i>	3	0.020
	<i>Scoloplos japonicus</i>	7	0.010
	<i>Thyphlospio glauca</i>	17	0.000
	<i>Thyphlospio cf. lampa</i>	62	0.060
	<i>Pseudopolydora cf. antennata</i>	1	0.010
	<i>Scoloplos hemimedeus japonicus</i>	4	0.010
	<i>Scoloplos tenuis</i>	1	0.010
	<i>Morpha sanguinea</i>	1	0.010
	<i>Dipatra rugosa</i>	3	0.050
イソメ科	<i>Gymna sp.</i>	3	0.010
タカラノイシ科	<i>Stomozooides polychaetorum</i>	1	0.010
オトヒモゴカイ科	<i>Halysidota cf. cecora</i>	1	0.050
シロホキモゴカイ科	<i>Tancrea</i>	1	0.010
シリコニ科	<i>Solidum gen. sp.</i>	1	0.010
カシトリゴカイ科	<i>Sabellaria albidissima</i>	1	0.010
カギゴカイ科	<i>Anomia sp.</i>	1	0.010
フリゴカイ科	<i>Lancea conchilega</i>	2	0.070
	<i>Lomia sp.</i>	1	0.010
ケヤリムシ科	<i>Euchone cf. rosae</i>	1	0.010
カシブシゴカイ科	<i>Hydrobia aciculata</i>	3	0.040
	多毛綱小計	1380	22.850
	/m ²	1226.7	20.311

表2-2 猫実川河口沖 7月8日 出現種 軟体動物門(貝の仲間) 24種

種名	学名	個体数	重量(g)
ウツボ科	<i>Alba picta</i>	2	0.017
ワカウラン科	<i>Irawadia elegantula</i>	21	0.116
ミズゴマツボ科	<i>Stenothyra edogawensis</i>	12	0.057
カリバガザ科	<i>Crepidula onyx</i>	1	0.018
キセワタ科	<i>Philine argentata</i>	3	2.602
ブドウガイ科	<i>Halos japonica</i>	34	0.526
	腹足綱小計	73	3.338
	/m ²	64.9	2.967
二枚貝綱 イガイ科	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	4	0.539
	<i>Musculista senhousia</i>	301	129.674
イタボガキ科	<i>Magita</i>	1	19.940
ザルガイ科	<i>Fuhria mutica</i>	1	0.005
バカガイ科	<i>Mactra chinensis</i>	1	0.000
	<i>Mactra quadrangularis</i>	36	0.656
	<i>Raetella pulchella</i>	2	0.001
ニッコウガイ科	<i>Macoma incongrua</i>	46	16.141
	<i>Nitidellina hokkaidensis</i>	2	0.022
アサジガイ科	<i>Tehra fragilis</i>	17	0.171
マテガイ科	<i>Solen cornutus</i>	299	0.392
マルスダレガイ科	<i>Mercenaria mercenaria</i>	1	0.000
	<i>Ruditapes philippinarum</i>	89	145.304
	<i>Cyclina sinensis</i>	1	2.085
オオノガイ科	<i>Mya arenaria oonogai</i>	6	10.523
	<i>Cryotomya elliptica</i>	2	0.263
キヌマトイガイ科	<i>Hiatella orientalis</i>	2	0.031
	二枚貝綱小計	611	325.747
	/m ²	720.9	289.553

表2-3 猫実川河口沖 7月8日 出現種

その他の動物門 15種

		種名	学名	個体数	湿重量(g)
刺胞動物門花虫綱	イソギンチャク目		<i>Actiniaria gen. spp.</i>	1	0.010
				花虫綱小計	1 0.010
				/m ²	0.9 0.009
総形動物門無針綱	ホソヒモムシ科		<i>Cephalothrix sp.</i>	15	0.060
				無針綱小計	15 0.060
				/m ²	13.3 0.053
節足動物門甲殻綱	コノハエビ科	コノハエビ	<i>Nebalia japonicus</i>	3	0.020
	ヒゲナガヨコエビ科		<i>Ampithoe sp.</i>	69	0.264
	ユンボヨコエビ科	ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	101	0.150
	ドロクダムシ科	トンガリドロクダムシ	<i>Monocerophium insidiosum</i>	1585	1.330
	メリタヨコエビ科		<i>Melita sp.</i>	4	0.014
	ヨコエビ亜目		<i>Gammarides gen. spp.</i>	2	0.002
	フレカラ科	モノワレカラ	<i>Caprella monoceros</i>	1	0.001
			<i>Caprella sp.</i>	438	0.540
	エビジャコ科	ウリタエビジャコ	<i>Crangon uritai</i>	1	0.024
	ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>	7	0.577
	スナモグリ科	ニホンスナモグリ	<i>Nihonotrypaea japonica</i>	1	0.262
	カクレガニ科	ラスバンマメガニ	<i>Pinnixa rathbuni</i>	10	0.372
	イワガニ科	ケフサイソガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	2	0.310
				甲殻綱小計	2224 3.866
				/m ²	1976.9 3.436

表3 猫実川河口沖 7月 優占種(個体数)

種名	学名	個体数
トンガリドロクダムシ	<i>Monocerophium insidiosum</i>	1585
ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. comosa</i>	513
ホトトギス	<i>Musculista senhousia</i>	301
マテガイ	<i>Solen corneus</i>	299
(イトゴカイ科の一種)	<i>Heteromastus sp.</i>	146
イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>	109
ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	101
アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	90
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	89
クシカギゴカイ	<i>Sigambra phuketensis</i>	63

表4 猫実川河口沖 7月 優占種（湿重量）

種名	学名	湿重量(g)
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	145.304
ホトトギス	<i>Musculista senhousia</i>	129.674
ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>	16.141
ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. comosa</i>	16.080
オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>	10.523
キセワタ	<i>Philine argentata</i>	2.602
オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	2.085
アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	1.900
トンガリドロクダムシ	<i>Monocolophium insidiosum</i>	1.330
チロリ	<i>Glycera nicobarica</i>	0.680

表5-1

猫実川河口沖 10月3日 出現種

環形動物門多毛綱（ゴカイの仲間）22種

種名	学名	個体数	湿重量(g)
環形動物門多毛綱 チロリ科 チロリ	<i>Glycera nicobarica</i>	5	1.200
	<i>Glycera macintoshii</i>	67	2.570
ギボシイソメ科 コアシギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>	17	0.230
イソメ科 ヤリブスマ	<i>Eunice sp.</i>	11	0.050
ゴカイ科 コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	717	9.290
	<i>Hediste diadroma or atoka</i>	32	1.450
	<i>Arenicola marina</i>	25	0.580
	<i>Neanthes succinea</i>	3	0.180
	<i>Oligochaeta</i>	4	0.030
	<i>Phyllodoce japonica</i>	1	0.010
サシバゴカイ科 クシカギゴカイ	<i>Sigambra phuketensis</i>	81	0.120
カギゴカイ科 ウロコムシ科	<i>Harmothoe sp.</i>	3	0.300
イトゴカイ科 イトゴカイタイプ I	<i>Capitella capitata sibling species type I</i>	5	0.020
	<i>Heteromastus sp.</i>	102	0.220
ミズヒキゴカイ科 ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. comosa</i>	112	2.620
ウミイサゴムシ科 ウミイサゴムシ	<i>Lagis bocki</i>	2	0.040
スピオ科 トガリスピオ	<i>Scolelepis kudenovi</i>	2	0.020
	<i>Pseudopolydora cf. kempfi</i>	1	0.010
	<i>Scolelepis texana</i>	1	0.010
ナナテイソメ科 スゴカイイソメ	<i>Diopatra sugakai</i>	12	0.880
シロガネゴカイ科 ハヤシロガネゴカイ	<i>Nephtys cf. caeca</i>	3	0.500
カンムリゴカイ科 カンムリゴカイ	<i>Sabellaria ishikawai</i>	1	0.020
多毛綱小計		1207	20.350
/m ²		1072.9	18.089

表5-2
猫実川河口沖 10月3日 出現種

軟体動物門（貝の仲間）24種

	種名	学名	個体数	湿重量(g)
軟体動物門腹足綱	ウキツボ科	シマハマツボ	Alba picta	97 1.806
	ワカウツボ科	カワグチツボ	Ivlevia elegantula	244 0.641
	ミズゴマツボ科	ウミゴマツボ	Stenothyra edogawensis	2274 8.677
	カリバガザ科	シマメノウフネガイ	Crepidula onyx	1 0.006
	オリイレヨフバイ科	アラムシロ	Reticunassa festiva	16 2.061
	トウガタガイ科	シロイトカケギリ	Turbonilla multigyrata	1 0.004
		ヨコイトカケギリ	Cingulina cingulata	8 0.042
	マメウラシマ科	マメウラシマ	Reticulina dolans	1 0.010
	ヘコミツラガイ科	マツシマコメツブ	Deconcha matsushimana	9 0.019
	キセワタ科	キセワタ	Philine argentata	2 0.122
	ブドウガイ科	ブドウガイ	Haloa japonica	26 2.095
			腹足綱小計	2679 15.483
			/m ²	2381.3 13.763
軟体動物門二枚貝綱	フネガイ科	サルボオ	Anadara kegoshimensis	28 4.306
	イガイ科	ミドリイガイ	Perna viridis	2 0.075
		ホトトギス	Musculista senhousia	2286 285.424
	バカガイ科	シオフキ	Mactra quadrangularis	19 7.468
	ニッコウガイ科	ヒメシラトリ	Macoma incongrua	33 20.197
		サクラガイ	Nitidellina hokkaidoensis	1 0.376
	アサジガイ科	シズクガイ	Tehroa fragilis	22 0.408
	マテガイ科	マテガイ	Solen cornutus	22 0.405
	マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	Mercenaria mercenaria	2 0.004
		カガミガイ	Dosinia japonica	8 2.103
		アサリ	Ruditapes philippinarum	325 65.371
	イワホリガイ科	ウスカラシオツガイ	Ptericola sp. cf. lithophaga	3 0.260
	オオノガイ科	オオノガイ	Mya arenaria conogai	1 2.146
			二枚貝綱小計	2752 388.543
			/m ²	2446.2 345.372

表5-3
猫実川河口沖 10月3日 出現種

その他の動物門 14種

	種名	学名	個体数	湿重量(g)
刺胞動物門花虫綱	インギンチャク目	Actiniaria gen. spp.	7 0.480	
			花虫綱小計	7 0.480
			/m ²	6.2 0.427
紐形動物門無針綱	ホソヒモムシ科	Cephalothrix sp.	8 0.210	
			無針綱小計	8 0.210
			/m ²	7.1 0.187
節足動物門甲殻綱	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	Balanus improvisus	15 3.199
	コノハエビ科	コノハエビ	Nebalia japonensis	306 1.098
	ヒゲナガヨコエビ科		Ampithoe sp.	296 1.741
	メリタヨコエビ科		Melita sp.	2 0.002
	ウンボヨコエビ科	ニホンドロソコエビ	Grandidierella japonica	218 0.525
	ワレカラ科		Caprella sp.	1 0.000
	ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	Pagurus minutus	1 0.243
	コブシガニ科	マメコブシガニ	Philyra pisum	1 0.065
	イワガニ科	ケフサイソガニ	Hemigrapsus penicillatus	7 1.189
	スナガニ科	オサガニ	Macrophthalmus abbreviatus	1 0.017
	カクレガニ科	ラスバンマメガニ	Pinnixa rathbuni	1 0.060
			甲殻綱小計	849 8.139
			/m ²	754.7 7.235
原索動物門ホヤ綱	モルグラ科	マンハッタンボヤ	Molgula manhattensis	58 39.430
			ホヤ綱小計	58 39.430
			/m ²	51.6 35.049

表6
猫実川河口沖 10月 優占種（個体数）

種名	学名	個体数
ウミゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>	2274
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	325
カワグチツボ	<i>Iravadia elegantula</i>	244
ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	218
ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. comosa</i>	112
(イトゴカイ科の一種)	<i>Heteromastus</i> sp.	102
シマハマツボ	<i>Alba picta</i>	97
クシカギゴカイ	<i>Sigambra phuketensis</i>	81
(スピオ科の一種)	<i>Glycera macintoshi</i>	67
ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>	33

表7
猫実川河口沖 10月 優占種（湿重量）

種名	学名	湿重量(g)
ホトトギス	<i>Musculista senhousia</i>	285.424
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	65.371
ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>	20.197
コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	9.290
ウミゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>	8.677
シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	7.468
サルボオ	<i>Anadara kagoshimensis</i>	4.306
ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. comosa</i>	2.620
(スピオ科の一種)	<i>Glycera macintoshi</i>	2.570
オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>	2.146

表8 海浜公園東浜 7月 出現種

全動物門 24種

現生動物門花虫綱		学名	個体数	干重(g)
イソギンチャク目		<i>Actinaria gen. spp.</i>	3	0.940
		花虫綱小計	3	0.940
		/m ²	8.0	2.507
組形動物門纖毛綱	ホソヒモムシ科	<i>Cephalothrix sp.</i>	15	0.310
		無計測小計	15	0.310
		/m ²	40.0	0.827
現形動物門多毛綱	チロリ科	<i>Glycera macintoshi</i>	17	0.560
ゴカイ科		<i>Hediste diadroma or atoka</i>	445	2.720
サンバゴカイ科		<i>Eteone cf. longa</i>	1	0.010
カギゴカイ科	カギアシゴカイ	<i>Sigambra phuketensis</i>	16	0.080
イトゴカイ科		<i>Heteromastus sp.</i>	1	0.010
オフェリアゴカイ科	ツツオオフェリア	<i>Armandia amakusaensis</i>	26	0.110
タマシキゴカイ科	タマシキゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>	3	6.580
スピノ科		<i>Polydora cornuta</i>	2	0.020
	イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>	6	0.020
	ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i>	1	0.010
	ヒゲスピオ	<i>Rhynchospio glutosa</i>	5	0.020
	ドロオニスピオ	<i>Pseudopolydora cf. kempfi</i>	108	0.110
イソメ科	イワムシ	<i>Morphyra sanguinea</i>	1	0.410
		多毛綱小計	632	10.660
		/m ²	1685.3	28.427
軟体動物門二枚貝綱	イガイ科	<i>Musculista senhousiae</i>	1	0.018
バカガイ科	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>	1	0.222
	シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	81	16.920
マテガイ科	マテガイ	<i>Solen corneus</i>	2	0.018
マルヌレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	102	36.949
		二枚貝綱小計	187	54.127
		/m ²	498.7	144.339
節足動物門甲殻綱	クマノミ科	<i>Dasyulus sp.</i>	3	0.003
ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pegurus minutus</i>	5	0.360
スナガニ科	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	1	0.019
		甲殻綱小計	9	0.382
		/m ²	24.0	1.019
節虫動物門等虫綱	ホウキムシ科	<i>Pholoniis sp.</i>	6	0.080
		等虫綱小計	6	0.080
		/m ²	16.0	0.213

表9 海浜公園東浜 7月 優占種(個体数)

種名	学名	個体数
(ヤマトカワゴカイもしくは ヒメヤマトカワゴカイ)	<i>Hediste diadroma or atoka</i>	445
ドロオニスピオ	<i>Pseudopolydora cf. kempfi</i>	108
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	102
シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	81
ツツオオフェリア	<i>Armandia amakusaensis</i>	26
(チロリ科の一種)	<i>Glycera macintoshi</i>	17
クシカギゴカイ	<i>Sigambra phuketensis</i>	16
(ホソヒモムシ科の一種)	<i>Cephalothrix sp.</i>	15
イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>	6
(ホウキムシ科の一種)	<i>Pholoniis sp.</i>	6

れた（表 11）。また、個体数としての優占種を表 12 に、湿重量としての優占種を表 13 に示す。個体数ではアサリが多く、ついでホウキムシ類の一種であった。重量ではオキシジミ、アサリ、シオフキの二枚貝が優占した。

行徳鳥獣保護区（新浜湖）百合が浜干潟

環形動物多毛類 9 種、軟体動物二枚貝類 6 種、節足動物甲殻類 4 種、等虫動物 1 種の計 20 種が採集された（表 14）。また、個体数としての優占種を表 15 に、湿重量としての優占種を表 16 に示す。個体数ではイトゴカイ科の一種が多く、ついでカワゴカイ類、ホウキムシ類の一種であった。重量ではオキシジミが圧倒的に多く、ついでシオフキの二枚貝が優占した。

種数分布

今回の調査で得られた夏季（猫実河口沖の 10 月を除く）の付着生物種を除く底生動物種数の全測点での分布を図 2 に示す。猫実河口沖で種数が多く、もっとも沖の測点で 41 種に達した。その他の地点ではほとんどが 10 から 20 種であった。

湿重量分布

今回の調査で得られた夏季（猫実河口沖の 10 月を除く）の付着生物種を除く底生動物種数の全測点での分布を図 3 に示す。猫実河口沖と東浜の三番瀬海域で重量が少ない傾向にあった。江戸川放水路と新浜湖では $1 \text{ kg}/\text{m}^2$ を超えるところが多かった。

種構成分布

全体を通しての主要種の各測点における夏季における出現頻度を図 4 に示す。全体的にここで選ばれた主要種の出現頻度は高くないものの、猫実川河口沖三番瀬におけるホトトギスガイ、東浜におけるアサリとシオフキ、江戸川放水路下流域でのアサリ、中流から上流域にかけてのホトトギスガイ、オキシジミガイ、ウミゴマツボ、カワグチツボ、新浜湖におけるアサリの出現頻度が高いのが目立った。

表10 海浜公園東浜 7月 優占種（湿重量）

種名	学名	湿重量(g)
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	36.949
シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	16.920
タマシキゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>	6.580
(ヤマトカワゴカイもしくは ヒメヤマトカワゴカイ)	<i>Hediste diadroma</i> or <i>atoka</i>	2.720
(インギンチャク目)	<i>Actiniaria</i> gen. spp.	0.940
(チロリ科の一種)	<i>Glycera macintoshi</i>	0.560
イワムシ	<i>Marphysa sanguinea</i>	0.410
ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>	0.360
(ホソヒモムシ科の一種)	<i>Cephalothrix</i> sp.	0.310
バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>	0.222

表11-1 江戸川放水路 8月 出現種

環形動物門多毛綱（ゴカイの仲間）21種

環形動物門多毛綱	種名	学名	個体数	湿重量(g)
チロリ科	チロリ	<i>Glycera nicobarica</i>	4	0.940
		<i>Glycera macintoshi</i>	11	2.020
ギボシイソメ科	コアシギボシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>	3	0.020
ゴカイ科	コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	103	1.050
		<i>Hediste diadroma</i> or <i>atoka</i>	264	2.230
	アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	27	0.820
		<i>Eteone</i> cf. <i>longa</i>	26	0.050
カギゴカイ科	カギアシゴカイ	<i>Sigambra phuketensis</i>	31	0.040
イトゴカイ科	イトゴカイタイプI	<i>Capitella capitata</i> sibling species type I	2	0.010
		<i>Heteromastus</i> sp.	1520	3.780
ミズヒキゴカイ科	ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia</i> cf. <i>comosa</i>	793	13.880
オフェリアゴカイ科	ツツオオフェリア	<i>Armandia amakusaensis</i>	270	0.240
ヒトエラゴカイ科		<i>Cossura</i> sp.	3	0.010
スピオ科		<i>Polydora cornuta</i>	6	0.040
	イトエラスピオ	<i>Prionospio pulchra</i>	2	0.020
	ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i>	2	0.010
	トガリスピオ	<i>Scolelepis kudenovi</i>	1	0.010
	ヒゲスピオ	<i>Rhychospio glutaea</i>	41	0.010
	ドロオニスピオ	<i>Pseudopolydora</i> cf. <i>kempi</i>	1	0.010
ナナテイソメ科	スゴカイソメ	<i>Diopatra sugokai</i>	1	0.190
シリス科		<i>Typosyllis</i> sp.	1	0.010
		多毛綱小計	3112	25.390
		/m ²	2489.6	20.312

表11-2 江戸川放水路 8月 出現種 その他の動物門 21種

種名	学名	個体数	湿重量(g)
刺胞動物門花虫綱 イソギンチャク目	<i>Actiniaria</i> gen. spp.	5	0.950
	花虫綱小計	5	0.950
	/m ²	4.0	0.760
絶形動物門無針綱 ホソヒモムシ科	<i>Cephalothrix</i> sp.	17	0.150
	無針綱小計	17	0.150
	/m ²	13.6	0.120
軟体動物門腹足綱 ワカウツボ科 カワグチツボ	<i>Iravadia elegantula</i>	46	0.388
ミズゴマツボ科 ウミゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>	45	0.150
	腹足綱小計	91	0.538
	/m ²	72.8	0.430
軟体動物門二枚貝綱 イガイ科 ホトギス	<i>Musculista senhousia</i>	127	82.420
チリハギガイ科?	<i>Lassaeidae?</i> gen. sp.	135	0.117
バカガイ科 シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	79	203.716
ニッコウガイ科 ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>	11	8.626
マテガイ科 マテガイ	<i>Solen cornutus</i>	4	3.082
マルスダレガイ科 ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>	1	0.008
アサリ Ruditapes philippinarum		316	213.956
オキシジミ Cyclina sinensis		151	875.017
ソトオリガイ科 ソトオリガイ	<i>Leternula truncata</i>	12	13.061
	二枚貝綱小計	836	1400.003
	/m ²	658.8	1120.002
節足動物門甲殻綱 クーマ科	<i>Diestyulus tricinctus</i>	1	0.000
スナウミナフシ科	<i>Anthuridae</i> gen. sp.	3	0.025
ドロクダムシ科 トンガリドロクダムシ	<i>Monocorophium insidiosum</i>	3	0.006
ウンボヨコエビ科 ニホンドロソコエビ	<i>Grandidensella japonica</i>	1	0.000
スナガニ科 チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	14	1.588
ヤマトオサガニ Macrobrachium japonicus		5	10.760
アナジャコ科 アナジャコ	<i>Upogebia major</i>	1	0.360
	甲殻綱小計	27	12.739
	/m ²	21.6	10.191
等虫動物門等虫綱 ホウキムシ科	<i>Pholoni</i> sp.	216	0.830
	等虫綱小計	216	0.830
	/m ²	172.8	0.664

表12 江戸川放水路 8月 優占種(個体数)

種名	学名	個体数
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	316
(ホウキムシ科の一一種)	<i>Pholoni</i> sp.	216
オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	151
(チリハギガイ科?の一種)	<i>Lassaeidae?</i> gen. sp.	135
ホトギス	<i>Musculista senhousia</i>	127
コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	103
シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	79
(ホソヒモムシ科の一一種)	<i>Cephalothrix</i> sp.	17
チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	14
ソトオリガイ	<i>Leternula truncata</i>	12

表13 江戸川放水路 8月 優占種（湿重量）

種名	学名	湿重量(g)
オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	875.017
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	213.956
シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	203.716
ホトトギス	<i>Musculista senhousia</i>	82.420
ソトオリガイ	<i>Letemnula truncata</i>	13.061
ヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	10.760
ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>	8.626
マテガイ	<i>Solen corneus</i>	3.082
(チロリ科の一種)	<i>Glycera macintoshi</i>	2.020
チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	1.588

表14 新浜湖百合が浜 6月 出現種 全動物門 20種

種名	学名	個体数	湿重量(g)	
環形動物門多毛綱 チロリ科	<i>Glycera macintoshi</i>	5	0.840	
ゴカイ科 コケゴカイ	<i>Corateneris erythraeensis</i>	57	0.890	
	<i>Hediste diadrome or atoka</i>	96	0.250	
イトゴカイ科 アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	7	0.160	
イトゴカイタイプ I	<i>Capitella capitata sibling species type I</i>	1	0.010	
	<i>Heteromastus sp.</i>	301	1.020	
ミズヒキゴカイ科 ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia cf. cornosa</i>	25	2.750	
スピオ科 スピオ	<i>Polydora cornuta</i>	8	0.010	
ヤマトスピオ	<i>Prionospio japonica</i>	2	0.020	
	多毛綱小計	502	5.950	
	/m ²	1338.7	15.867	
軟體動物門二枚貝綱 イガイ科	ホトトギス	<i>Musculista senhousia</i>	1	0.097
バカガイ科 シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	2	19.218	
マルヌダレガイ科 アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	77	2.498	
マルヌダレガイ科 オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	27	435.479	
オオノガイ科 オオノガイ	<i>Mya arenaria conogai</i>	12	0.817	
ソトオリガイ科 ソトオリガイ	<i>Letemnula truncata</i>	7	0.442	
	二枚貝綱小計	126	458.551	
	/m ²	336	1222.803	
節足動物門甲殻綱 メリタヨユエビ科	<i>Melita sp.</i>	0	0.002	
ヨコエビ類目	<i>Gammaridea gen. sp.</i>	0	0.001	
ワレカラ科	<i>Caprella sp.</i>	3	0.014	
スナガニ科 コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	1	0.480	
	甲殻綱小計	14	1.489	
	/m ²	37.3	3.971	
帶虫動物門帶虫綱 ホウキムシ科	<i>Pholoides cf. validus</i>	30	0.397	
	帶虫綱小計	89	1.190	
	/m ²	237.3	3.173	

表15 新浜湖百合が浜 6月 優占種 (個体数)

種名	学名	個体数
(イトゴカイ科の一一種)	<i>Heteromastus</i> sp.	301
(ヤマトカワゴカイもしくは ヒメヤマトカワゴカイ)	<i>Hediste diadroma</i> or <i>atoka</i>	96
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	77
コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	57
(ホウキムシ科の一一種)	<i>Pholonis</i> cf. <i>valida</i>	30
オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	27
ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia</i> cf. <i>comosa</i>	25
オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>	12
(スピオ科の一一種)	<i>Polydora cornuta</i>	8
アシナガゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	7
ソトオリガイ	<i>Letemula truncata</i>	7

表16 新浜湖百合が浜 6月 優占種 (湿重量)

種名	学名	湿重量(g)
オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	435.479
シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>	19.218
ミズヒキゴカイ	<i>Cirriformia</i> cf. <i>comosa</i>	2.750
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	2.498
(イトゴカイ科の一一種)	<i>Heteromastus</i> sp.	1.020
コケゴカイ	<i>Ceratonereis erythraeensis</i>	0.890
(チロリ科の一一種)	<i>Glycera macintoshi</i>	0.840
オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>	0.817
コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	0.480
ソトオリガイ	<i>Letemula truncata</i>	0.442

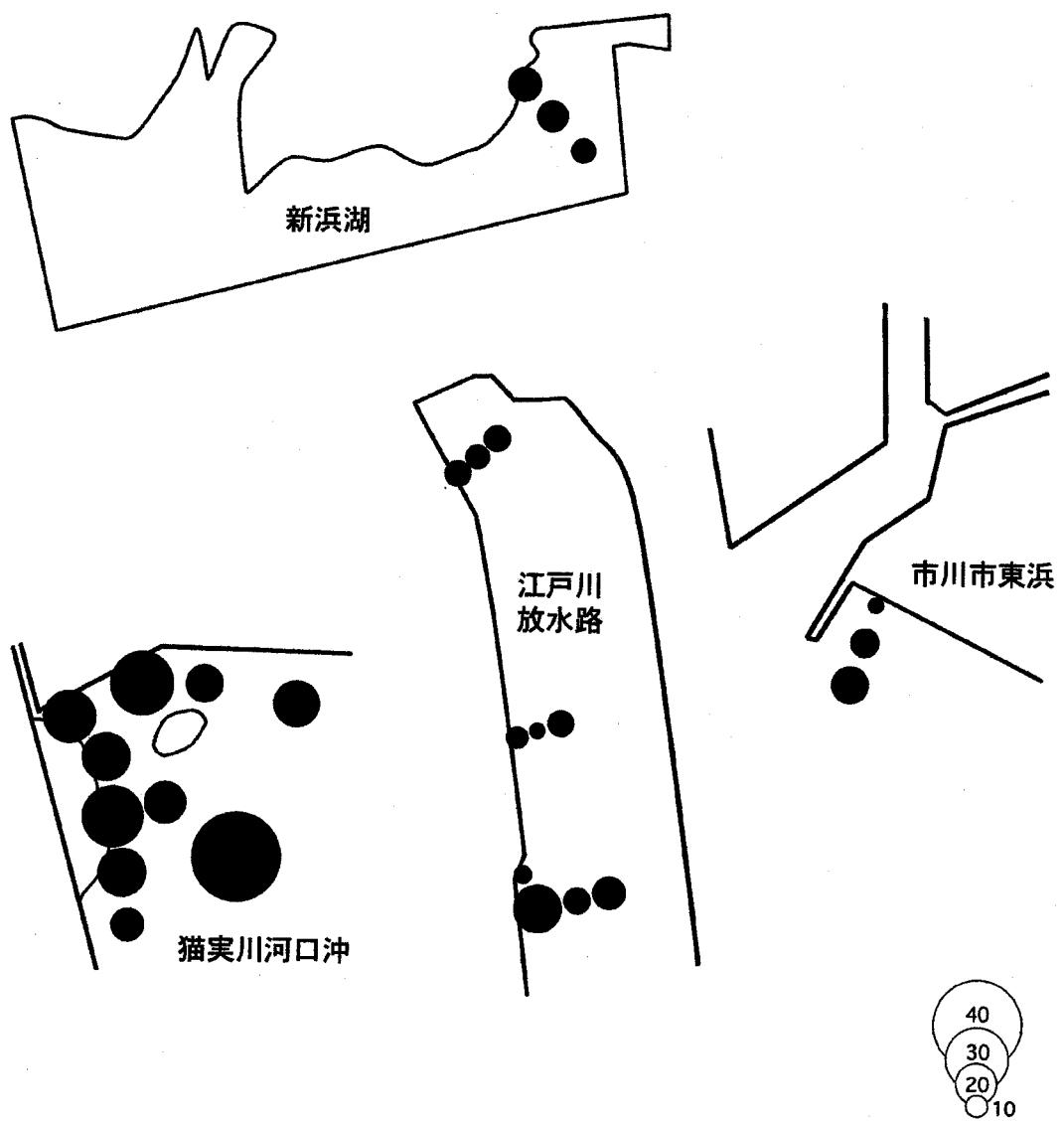


図2 各地点の出現種数（夏期）

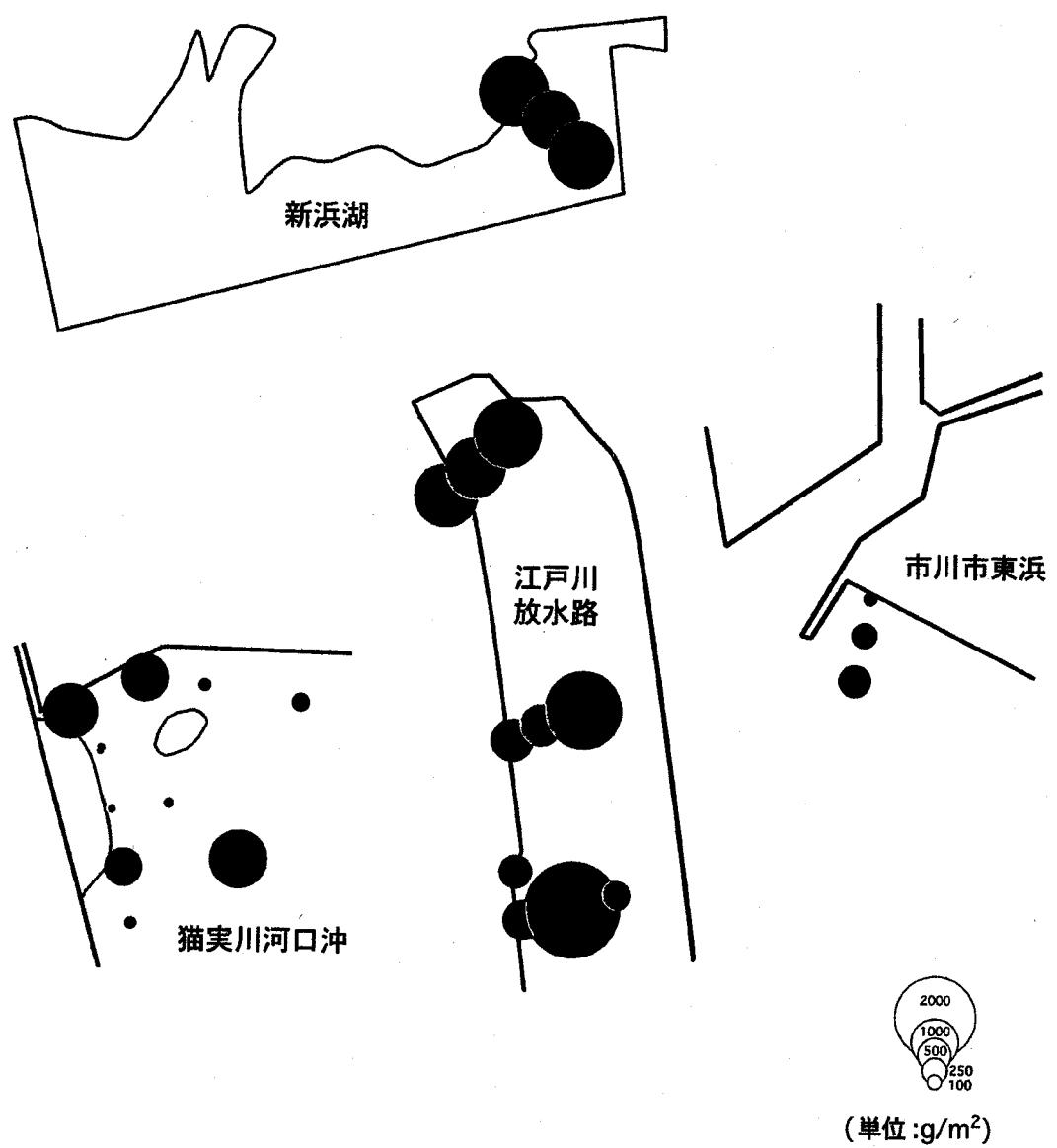


図3 各地点の生物量（夏期）

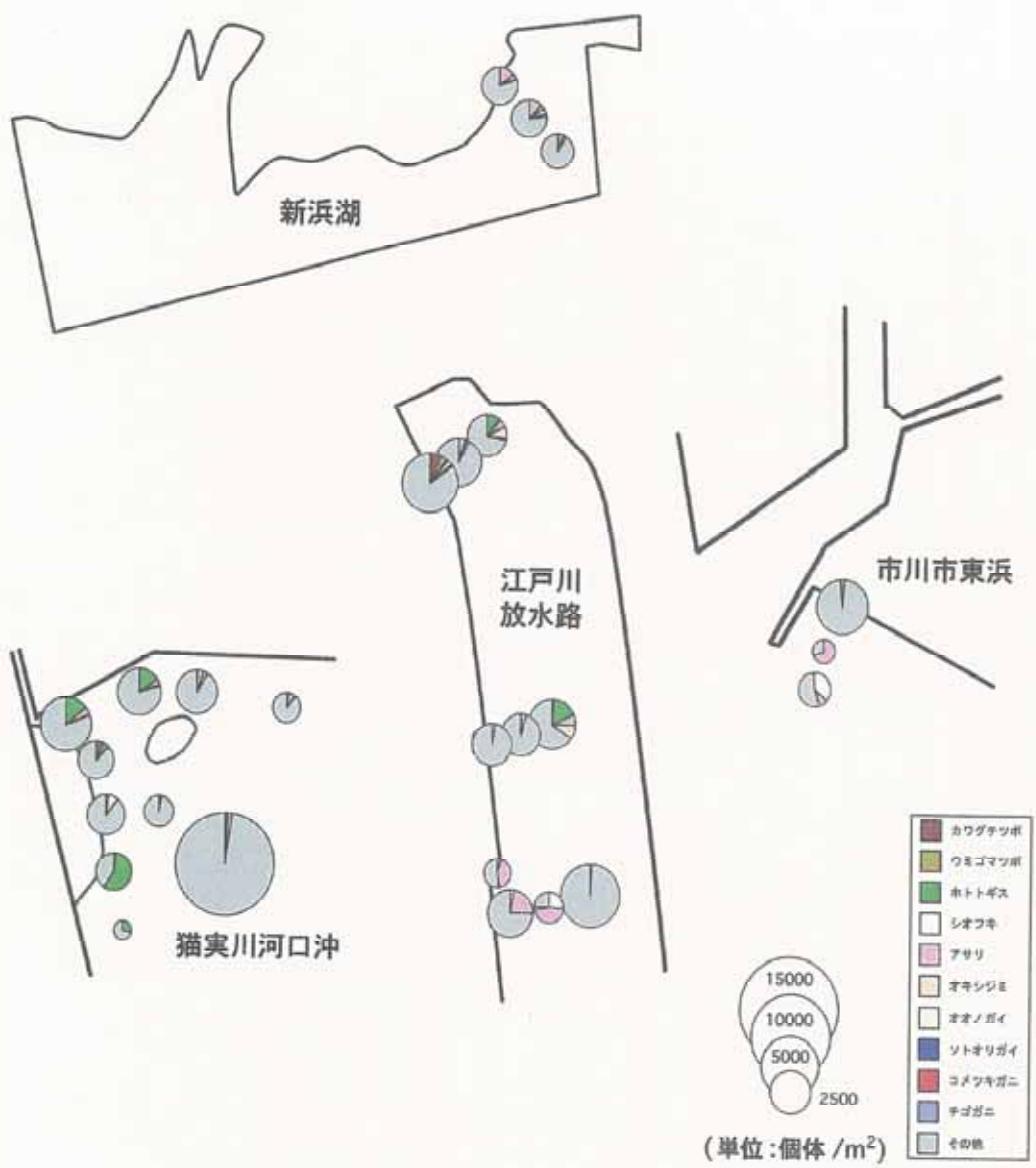


図4 各地点の出現個体数（夏期）

4. 猫実河口沖の季節変化

猫実河口沖では、今回と同様な調査を昨年度 2003 年 2 月にも実施している。その結果も加え、季節変化についてまとめる。

2 月では全測点で種数が 30 から 40 種に達していたが、7 月には最沖部を除いて種数が低下し、10 月ではその最沖部の測点でも種数が低下し、全域で 20 から 30 種となつた（図 5）。

湿重量では、2 月には全地点で 200 g/m^2 以下であったが、7 月には一部で主にホトトギスガイの増加（図 4）に支えられ湿重量は 500 g/m^2 以上の測点が出現した（図 6）。10 月では現存量のホトトギスガイに対する依存度はさらに増加し、浦安側に沿って 250 g から 1000 g/m^2 以上の測点が出現した（図 6）。

構成種においては、7 月から 10 月にかけてのホトトギスガイの増加、10 月のウミゴマツボの急激な増加が顕著であった（図 7）。

また主要各種について、その密度の季節変化を図 8 に示す。ニホンドロソコエビは冬に多く夏に大きく減少した。ミズヒキゴカイとトンガリドロクダムシを含むドロクダムシ属は 7 月に一時的に増加し 10 月に低下した。また、カワグチツボ、ウミゴマツボ、ホトトギスガイ、アサリは時間経過とともに増加した。

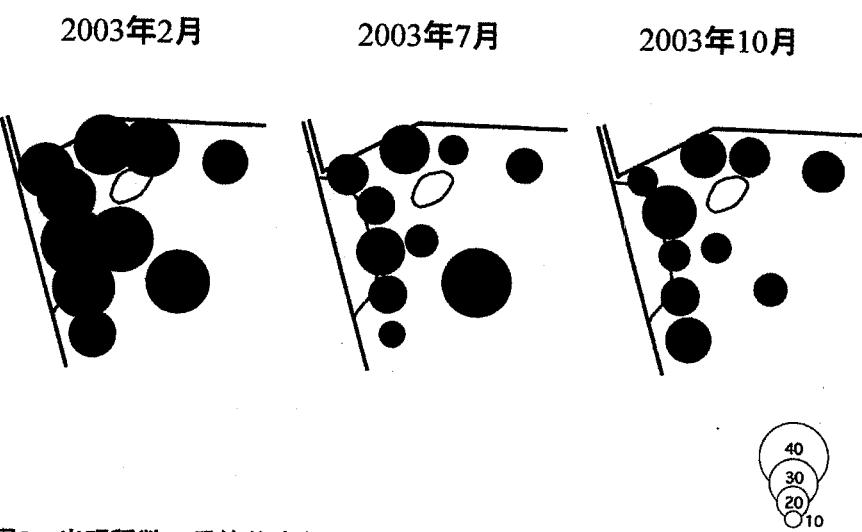


図5 出現種数の季節的変化（猫実川河口沖）

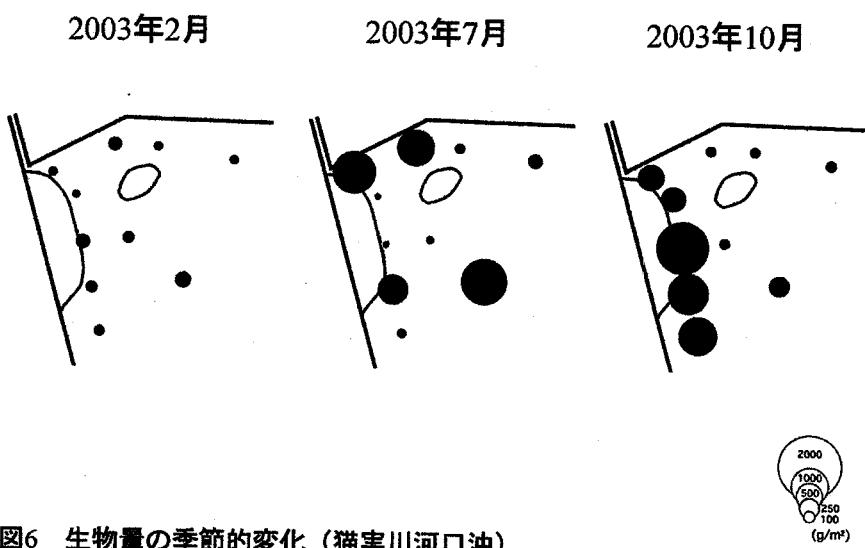
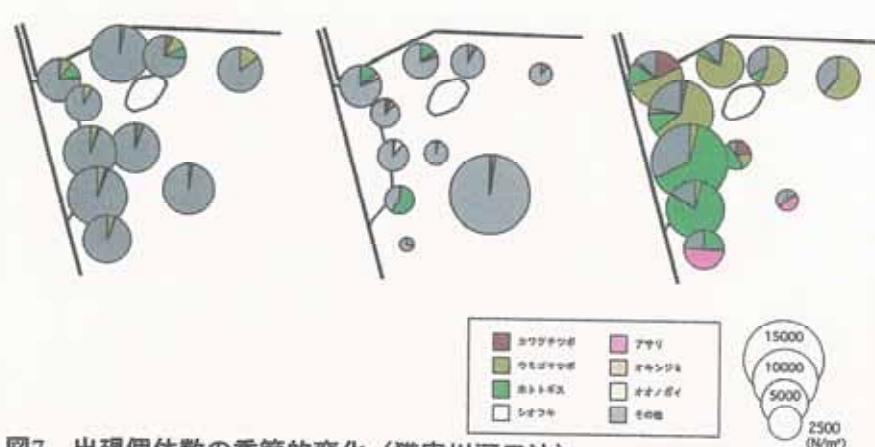


図6 生物量の季節的変化（猫実川河口沖）

2003年2月

2003年7月

2003年10月



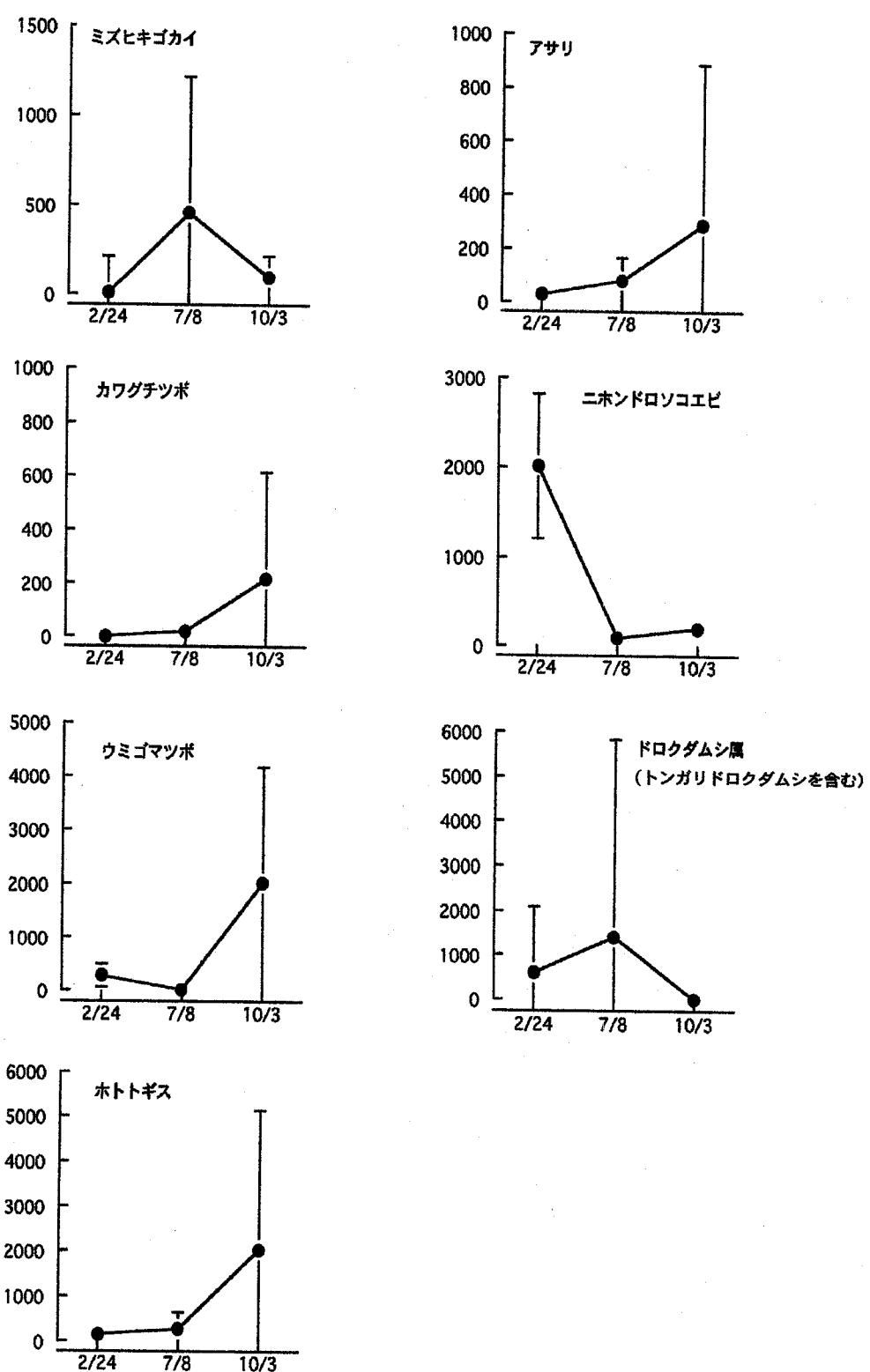


図8 猫実川河口沖測点における代表的出現種の個体密度
(測点平均土標準偏差) の季節的变化 (単位: 個体数/ m^2)

5. 三番瀬の底生動物相の特徴

猫実川河口沖の動物相の特徴はまず種数の多さである。特に7月の調査では多毛類の種数が多い。しかし、それらの種の大部分は各測点における採集個体数の平均が1.0に満たないほど低密度で、その多くは10月には消失していた。また、これらの多毛類の中にはウミイサゴムシ、ヨツバネスピオA型、イトエラスピオなど、東京湾のより沖の深場に移行する全置斜面やその先の湾の大部分を占める海底部、いわゆる平場で多く出現する種が含まれている。沖合いの種の出現は軟体動物腹足類ではマメウラシマ、同二枚貝類ではトリガイ、サクラガイ、シズクガイ、チヨノハナガイが認められ、この中でシズクガイは平均出現個体数が1.7とやや多い。ヨツバネスピオA型、イトエラスピオ、シズクガイ、チヨノハナガイは東京湾の貧酸素化による環境悪化の進行に伴い、動物群集の中で最後まで生き残る種である。これらの種の出現は、猫実川河口沖の生物種の多さを支えているのは、猫実川河口沖海域が干潟に隣接する浅海域としての環境が用意されていると同時に、底質の泥化に伴い、東京湾沖部の比較的深い海底の環境要素も備わってきたためと推測される。

また放水路や行徳野鳥保護区の干潟においては、オキシジミ、ソトオリガイ、ヒメシラトリガイなど、東京湾の干潟において希少種となっている二枚貝類が豊富に見られた。これらの種は閉鎖的で泥分の多い底質で多く見られ、三番瀬の後背地としての放水路や行徳野鳥保護区内の海域環境が、これらの種個体群の保全に重要な役割を持っていることを示している。

また、今回の調査中で放水路や三番瀬において、ホソウミニナ、ヘナタリ、ウミニナ、イボウミニナなど干潟を代表する腹足類の殻が多く発見された。ホソウミニナは今回の調査でも生きたものが数個体確認されたが、その他の種は2000年代では発見されず、すでに絶滅したと考えられる。したがって、三番瀬の後背地は現在でも東京湾の干潟生物にとって重要な生息環境ではあるが、各種の生息は決して安定したものではなく、三番瀬の環境修復において、後背地と前浜としての三番瀬の環境をどのように関連づけるかが重要な課題である。

6. 調査を通しての市民の意見

今回の調査には、市民、NPO、行政関係者、学生など、幅広い人材の参加を得た。また、2004年3月13日に開催された、今回の調査報告会「三番瀬の今」市民調査報告会でも30名を越える参加者があった。それらの方々からの今後の調査の進め方、また今回の調査成果の生かし方についての意見をいただいた。以下、その主な意見をまとめるとする。

(調査参加者から)

- ・新たに知った生物が多く勉強になる。
- ・定量的な調査がいかに大変であるかが理解でき、学術的調査内容の理解につながった。
- ・より市民にアピールして、より多くの市民が自然環境に関心を持ちその内容を理解することが環境保全への大きな原動力になる。したがってより多くの市民に参加できるよう、さらなる工夫が必要である。
- ・生物調査でせっかく生き物を見つけても名前がわからず、報告するのにとまどってしまった。三番瀬の生き物を紹介する簡単な図鑑と、調査に先立つ事前の説明必要である。

(会場からの意見)

- ・アマモ事業の拡大を望む。河川の水の問題（江戸川放水路）を、漁師などのことも考え、解決していってもらいたい。この調査の成果をもとに三番瀬とその周辺環境の移り変わりをまとめる必要がある。
- ・干潟を生かした街づくりということだが、環境に関心が持てる街の構造も必要。
- ・今回、学術的な話しあは伺ったが、市民参加の部分を身近に感じられない。もっと手軽に市川に住んでいる方が遠足でアシ原に行って、再生もさることながら、アシを使ったおもちゃとか親しみやすいプログラム作りが必要である。学術研究も続けてほしいが、一般市民が気軽に干潟の生き物の観察ができる環境と体制が必要。

これらの意見は、このような調査を今後とも継続するとともに、市民にとつ

てより効果的な運営をする必要があり、さらにはそれを支援する資料作りが期待されていることを示している。したがって、今回のような学術的調査を市民にとって有益なものにするためのシステム開発が、今後の重要な活動である。

付表 調査結果一覧

新浜湖百合が浜 底生動物

2003年6月15日

固定者 多毛綱：西柴二郎 軟体動物門：黒住利二 甲殻綱：胸井智美

門	綱	種名	学名	測点	1		2		3		平均		
					個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	
刺胞動物	花虫	イソギンチャク目	<i>Actiniaria gen. spp.</i>		花虫綱小計	0	0.000	0	0.000	3	0.940	1.0	0.313
					/m ²	0	0.000	0	0.000	24	7.520	8.0	2.507
紐形動物	無針	ホソヒモムシ科	<i>Cephalothrix sp.</i>		無針綱小計	0	0.000	3	0.190	12	0.120	5.0	0.103
					/m ²	0	0.000	24	1.520	96	0.960	40.0	0.827
環形動物	多毛	チロリ科	<i>Glycera macintoshi</i>			5	0.260	12	0.300	5.7	0.187		
		ゴカイ科	<i>Hediste diadroma</i> or <i>atoka</i>		442	2.700	2	0.010	1	0.010	148.3	0.907	
		サシバゴカイ科	<i>Eteone cf. longa</i>		1	0.010					0.3	0.003	
		カギゴカイ科	<i>Sigambra phuketensis</i>						16	0.080	5.3	0.027	
		イトゴカイ科	<i>Heteromastus sp.</i>						1	0.010	0.3	0.003	
		オフェリアゴカイ科	<i>Armandia amakusaensis</i>		25	0.100	1	0.010			8.7	0.037	
		タマシキゴカイ科	<i>Arenicola brasiliensis</i>						3	6.580	1.0	2.193	
		スピオ科	<i>Polydora cornuta</i>			1	0.010	1	0.010	0.7	0.007		
			<i>Prionospio pulchra</i>			1	0.010	5	0.010	2.0	0.007		
			<i>Prionospio japonica</i>			1	0.010			0.3	0.003		
			<i>Rhychospiro glutaeae</i>			2	0.010	3	0.010	1.7	0.007		
			<i>Pseudopolydora cf. kempfi</i>		50	0.080	9	0.010	49	0.020	36.0	0.037	
		イソメ科	<i>Morphysa sanguinea</i>						1	0.410	0.3	0.137	
			多毛綱小計		518	2.890	22	0.330	92	7.440	210.7	3.553	
			/m ²		4144	23.120	176	2.640	736	59.520	1685.3	28.427	
軟体動物	二枚貝	イガイ科	ホトトギス	<i>Muscilista senhousia</i>		1	0.018				0.3	0.006	
		バカガイ科	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>					1	0.222	0.3	0.074	
			シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>			1	3.953	80	12.967	27.0	5.640	
		マテガイ科	マテガイ	<i>Solen corneus</i>					2	0.018	0.7	0.006	
		マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>		14	3.051	70	18.715	18	15.183	34.0	12.316
節足動物	甲殻	クーマ科		<i>Diestylus sp.</i>		15	3.069	71	22.668	101	28.390	62.3	18.042
		ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>		120	24.553	568	181.344	808	227.120	498.7	144.339
		スナガニ科	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>					3	0.003			
				甲殻綱小計		5	0.360	1	0.019			1.0	0.001
節足動物	甲殻			/m ²		40	2.880	8	0.152	24	0.024	24.0	1.019
		ヘビイシ科		<i>Pholoniis sp.</i>				6	0.080			2.0	0.027
				ヘビイシ綱小計		0	0.000	6	0.080	0	0.000	2.0	0.027
				/m ²		0	0.000	48	0.640	0	0.000	16.0	0.213
				総計		538	6.319	103	23.287	211	36.893	284.0	22.166
				/m ²		4304	50.553	824	186.296	1688	295.144	2272.0	177.331